ターボ HD

1080P バレット/ドームカメラ

ユーザーマニュアル

弊社の製品をご購入いただきありがとうございます。ご質問、ご要望がございましたら、お気軽に販売店にお問い合わせください。

このマニュアルは以下モデルに対応します。

タイプ	モデル
バレット	AH-T11P
	AH-T12
ドーム	AH-T51-P
	AH-T52

このマニュアルに技術的に不正確な点や印刷上の問題がある場合があり、内容は通知なしに変更される可能性があります。
更新はこのマニュアルの改版時に追加されます。弊社では、マニュアルに記載された製品や手順は迅速に改善・更新していきます。

プライバシーに関する注意

監視に関する法律は裁判管轄地域によって異なります。この製品を監視目的で利用される際には、製品のご利用が、お住まいの地域裁判管轄地域のすべての関連法に違反しないことを確認してください。
カメラのパラメータおよび機能については、製品の使用をご確認ください。

規制情報

FCC 情報

FCC 準拠:この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定される、デジタルデバイスの制限に適合することが確認されています。これらの制限は、商業環境で装置を運用する際に、有害な干渉に対して妥当な保護を提供するように設計されています。この装置は電波を発生または使用し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、取扱説明書にしたがって設置および使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。住宅地域でこの装置を運用する場合、有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合はユーザ側の負担で干渉に対処する必要があります。

FCC 条件

このデバイスは、FCC ルール Part 15 に準拠しています。運用は以下の 2 つの条件にしたがうものとします:
1.このデバイスが有害な干渉を引き起こす可能性がない。
2.このデバイスは望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含め、あらゆる干渉受信を受容しなければならない。

EU適合宣言

この製品、および—該当する場合には—提供される備品も含めて、「CE」マークの認定を受けており、低電圧指令2006/95/ECおよびEMS指令2004/108/EC、RoHS指令2011/65/EUに規定される、関連する整合規格に適合しています。

2012/19/EU（WEEE指令）：

この記号が付いている製品は、欧州連合（EU）の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定された収集場所で処分してください。より詳細な情報については以下をご確認ください: www.recyclethis.info

2006/66/EC（バッテリー指令）：

本製品には、欧州連合（EU）の地方自治体の未分別廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。
特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム（Cd）、鉛（Pb）、水銀（Hg)を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定された収集場所にご返却ください。より詳細な情報については以下をご確認ください: www.recyclethis.info

カナダ産業省 ICES-003 準拠

本装置は CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A)基準要件を満たしています。

1 概要

1.1 製品の特長

このカメラには高感度に対応する新世代のセンサーと先進的な回路基板設計技術が採用されています。高解像度、低歪曲および低ノイズなどの機能が実現されており、監視システムや画像処理システムに最適です。

主な特長は以下の通りです:

・高性能 CMOS センサーと高解像力による高品質な映像

・低光量対応

・自動切り替え可能な赤外線フィルタ対応

・設定可能な OSD メニュー、パラメータ

・オートホワイトバランス、オートゲインコントロール、電子式シャッター制御および内部同期のサポート

・スマート IR モード

・2.8mm ワイドレンズ

・様々な設置要件に対応する先進的な 3 軸設計。(ドーム)

1.2 概要

1.2.1 バレットカメラの概要

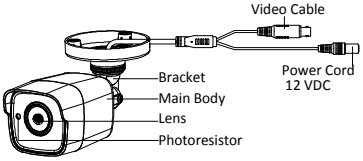

図 1-1 バレットカメラの概要

1.2.2 ドームカメラの概要

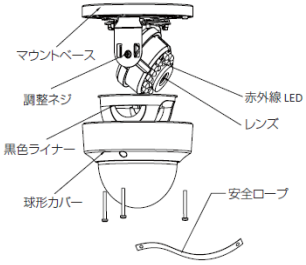

図 1-2 ドームカメラ(AH-T51-P)の概要

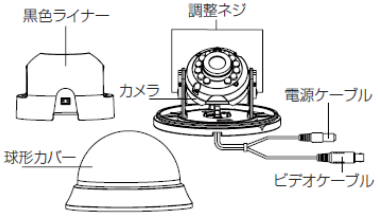

図 1-3 ドームカメラ(AH-T52)の概要

2. 設置

始めに：

・パッケージの中の機器の状態に問題がなく、すべての組立部品が含まれていることを確認してください。
・設置の際は、すべての関連装置の電源がオフになっていることを確認してください。
・ 設置環境に関連する製品の仕様をチェックしてください。
・損傷を避けるため、電源供給が電源出力に適合していることを確認してください。
・壁面が、カメラとマウント部品の重量の三倍の重量に耐えられる十分な強度を持っていることを確認してください。
・壁面がコンクリートの場合、カメラ取り付け前に拡張ネジを打ち込む必要があります。壁面が木製の壁である場合、セルフタッピングネジを利用してカメラを固定することができます。
・製品が正しく機能しない場合、販売店または最寄りのサービスセンターに連絡してください。修理や保守のためにカメラを自分自身で分解しないでください。

2.1 バレットカメラの設置

バレット型カメラにはウォールマウントと天井マウントのどちらも適用できます。この節では天井マウントをサンプルとして取り上げます。ウォールマウントを採用する場合も、天井マウントの手順を参考にすることができます。

方法：

1. 同梱のドリルテンプレートにしたがい、ドリルで天井にネジ穴とケーブル穴を空けてください。
2. 同梱のプラスチックの拡張ボルトをネジ穴にハンマーで打ち込みます。

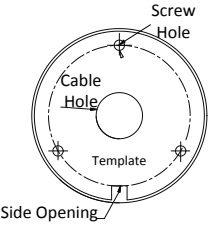

図 2-1 ドリルテンプレート

3. ケーブルをケーブル孔を通して配線し、対応するケーブルを接続します。
4. 同梱のネジでカメラを天井に固定します。

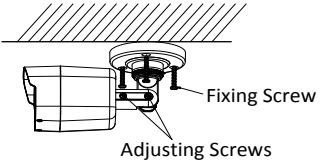

図 2-2 カメラの天井への取り付け

5. 監視角度を調整します。
   1). P 調整ネジをゆるめ、パン位置を調整します
   (0°～ 360°)。
   2). P 調整ネジを締めます。
   3). T 調整ネジをゆるめ、チルト位置を調整します
   (0°～ 90°)。
   4). T 調整ネジを締めます。
   5). R 調整ネジをゆるめ、回転位置を調整します
   (0°～ 360°)。
   6). R 調整ネジを締めます。

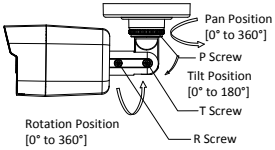

図 2-3 3 軸の調整

2.2 ドームカメラの設置

方法:

1. 球形カバーのネジをゆるめ、または球形カバーを回転させ、球形カバーと黒色ライナーを取り外します。

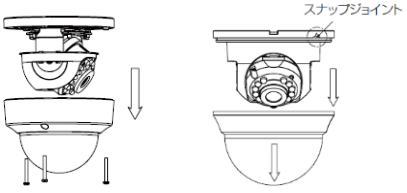

図 2-4 球形カバーの取り外し

2. 同梱のドリルテンプレートにしたがい、ドリルで天井にネジ穴とケーブル孔を空けてください。

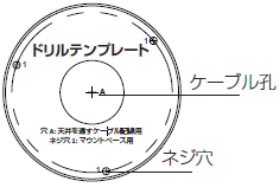

図 2-5 ドリルテンプレート

3. ベースプレートをマウントテンプレートに合わせて同梱のセルフタッ す。

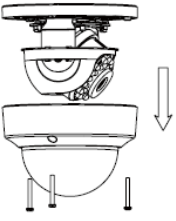

図 2-6 球形カバーの取り外し

4. ケーブルをケーブル孔に通します。
5. 対応するケーブルを接続します。
6. カメラを下図にしたがって調整し、最適な角度に合わせます。

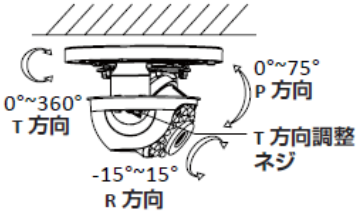

図 2-7 3 軸の調整

7. 黒色ライナーと球形カバーをカメラに取り付け、球形カバーのネジを締め、または球形カバーを回転させて完了です。

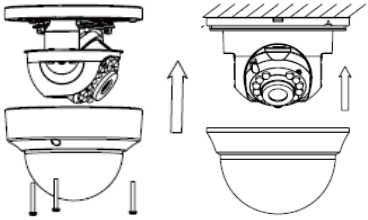

図 2-8 設置の完了

3. メニュー操作

メニュー概要

初めに：

レコーダーのメニューから PTZ Control コントロールを選択します。

方法:

図 3-1 の様にレコーダーとカメラを同軸ケーブルで接続します。

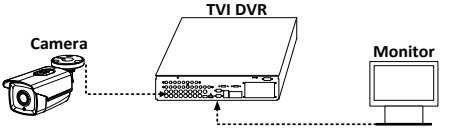

図 3-1 接続

カメラが起動するとモニターに映像が表示されます。
レコーダーにログイン後、ショートカットメニューの PTZ コントロールを選択します。
ボタンをクリックし、OSD メニューを表示させます。

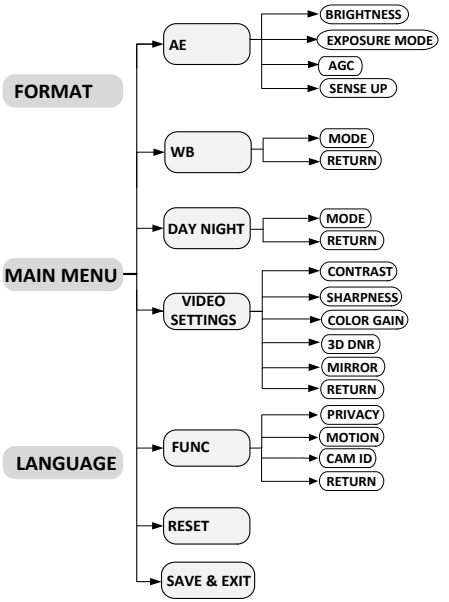

図 3-2 OSD メニュー

方向キーをクリックしてメニュー項目を選択します。

上/下ボタン＿移動
ボタン または Iris+ボタン＿確定
左/右ボタン＿項目移動

3.1 FORMAT

PAL/NTSC のいずれかに設定できます。

・PAL
　最大 1080P@25f/s
　※フリッカレスモードとして使用可
・NTSC
　最大 1080P@30f/s

3.2 LANGUAGE

言語選択：英語/中国語

3.3 MAIN MENU

3.3.1 AE (露光)

カーソルを［AE］に動かし、輝度、露光モードおよび AGC によって画像の明るさを調整できます。

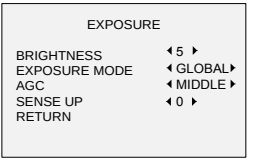

図 3.3 露光

BRIGHTNESS(輝度)

輝度は画像の明るさのことを指します。

EXPOSURE MODE(露光モード)

カーソルを動かし露光モードを[GLOBAL][BLC,][WDR]に調整できます。

GLOBAL

GLOBAL は、照明の分布、変動、および非標準処理を調整する標準露出モードを指します。

BLC (逆光補正)

BLC は背景エリアを基準に画像全体の明るさを改善します。BLC ゲインは 0 から 8 までで設定できます。

WDR (Wide Dynamic Range)

ワイドダイナミックレンジは、バックライト状況下でも鮮明な画像を提供します。WDR は画像全体の明るさをバランスさせ、鮮明な画像を詳細に表示します。

AGC (Auto Gain Control)

AGC は光量が不十分なシーンでの画像の明瞭さを最適化します。AGC レベルはオフ、低、中または高に設定できます。

注：

GAIN がオンのとき、ノイズが増幅されます。SENSE UP は信号フレームの露出を増やします。これにより、カメラは光に対してより敏感になり、低い照明条件でも画像を生成することができます。さまざまな照明条件に応じて、SENS UP を OFF または AUTO に設定することができます。SENS-UP は、異なる照明条件に従って、x2、x4、x6、x8、x10、x12、x14、x16 にアトミックに調整します。

3.3.2 WB (White Balance)

ホワイトバランスモードを[ATW]または[MWB]に設定します。

ATW (Auto Tracking White Balance)

ATW モードでは、シーンの照明の色温度に応じてホワイトバランスが自動的に調整されます。

MWB (Manual White Balance)

R ゲイン/B ゲインの値を 1 から 255 までで設定します。図 3-4 に示すとおりです。

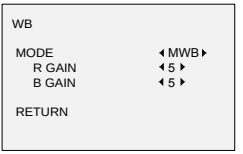

図 3-4 MWB MODE

3.3.3 DAY NIGHT

カーソルを [AUTO][COLOR][B/W] に動かし、自動、カラー、白黒に設定します。

COLOR

日中モ ードでは画像は常にカラーで表示されます。

B/W

画像は常に白黒になり、低光量環境では IR LED が点灯します。

AUTO

IR LED をオン/オフし、このメニューで SMART IR の値を設定することができます。

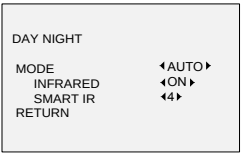

図 3-4 DAY NIGHT

INFRARED

さまざまな状況の要件を満たすために IR LED をオン/オフすることができます。

SMART IR

[IR LED] のオン/ オフを切り替え、スマート IR のレベルを 1 から 8 までで設定します。

3.3.4 VIDEO SETTING

コントラスト、シャープネス、カラーゲイン、3D DNR、およびミラーは調整可能です。

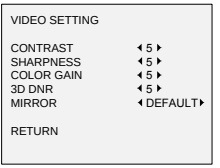

図 3-5 VIDEO SETTING

CONTRAST

コントラストは画像の中の色と光量の差を増幅します。
値は 1 から 10 までで設定できます。

SHARPNESS

シャープネスは画像システムが再現できる精細さの度合いを決定します。
値は 1 から 10 までで設定できます。

COLOR GAIN

画像の彩度レベルを設定できます。値は 0 から 10 までです。

3D DNR (Digital Noise Reduction)

3D DNR は特に低光量条件においてノイズの度合いを低減し、より正確で鮮明な画像品質を実現します。値は 0 から 10 までで設定できます。

MIRROR

ミラーステータスを [水平]、[垂直]、[水平および垂直] または [オフ] に設定できます。

3.3.5 FUNC (Functions)

FUNC サブメニューでは、カメラのプライバシーマスク、モーション検出、カメラ ID を設定できます。

PRIVACY

プライバシーマスクを使用すると、表示したくない特定の領域をカバーできます。 最大 4 つのプライバシーエリアを設定できます。

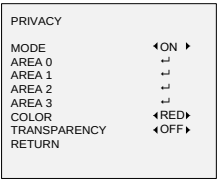

図 3-6 PRIVACY

プライベートエリアを選択します。 DISPLAY ステータスを ON に設定します。上/下/左/下ボタンをクリックして、エリアの位置とサイズを定義します。

MOTION

ユーザ定義の動き検出監視エリアでは、移動物体が検出され、アラームがトリガされます。 最大 4 つのモーション検出エリアを設定できます。

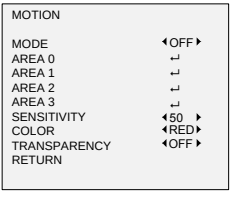

図 3-7 MOTION

モーション領域を選択します。DISPLAY ステータスを ON に設定します。 上/下/左/右ボタンをクリックして、エリアの位置とサイズを定義します。 SENSITIVITY を 0 から 100 に設定します。

CAMERA ID

このセクションのカメラ ID を編集します。

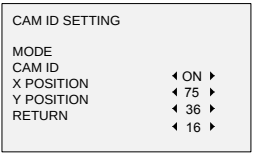

図 3-8CAM ID SETTING

MODE をオンに設定します。 左/右ボタンをクリックして、カメラ ID と位置を選択します。

3.3.6 RESET

すべての設定をデフォルトにリセットします。

3.3.7 SAVE & EXIT

カーソルを [保存と終了] に動かし、[OK] を押すと、設定を保存してメニューが終了します。